

SPANCRETE
CORPORATION

株式会社スパンクリートコーポレーション

会社説明会

2011年6月24日



(株)スパンクリートコーポレーション



会社概要及び沿革

<会社概要>

本 社	東京都文京区湯島2丁目4番3号
営業所	宇都宮営業所 仙台営業所
工 場	宇都宮工場
設 立	1963年3月
資本金	32億9,589万3,000円
従業員	97名（外派遣社員他38名）
事業内容	スパンクリート事業 不動産事業

<沿 革>

63年 3月	設立 資本金1千万円 商号 スパンクリート製造株式会社
64年 2月	宇都宮市に生産設備完成 営業開始
82年12月	宇都宮工場 JIS指定工場となる
83年 3月	スパンクリート合成床工法 販売開始
89年11月	茨城県岩瀬町（現 桜川市）に岩瀬工場完成
91年 2月	社名を現社名に変更
91年 9月	株式を公開 日本証券業協会店頭登録（JASDAQ）
93年 5月	岩瀬工場 JIS指定工場となる
04年 3月	明星プレテック株の株式を100%取得
05年 5月	宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 ISO9001取得
06年 3月	プレテック株解散
10月	普通株式1株を2株に分割
10年11月	岩瀬工場閉鎖 生産設備を宇都宮工場に統合

(株)スパンクリートコーポレーション



工場

宇都宮工場

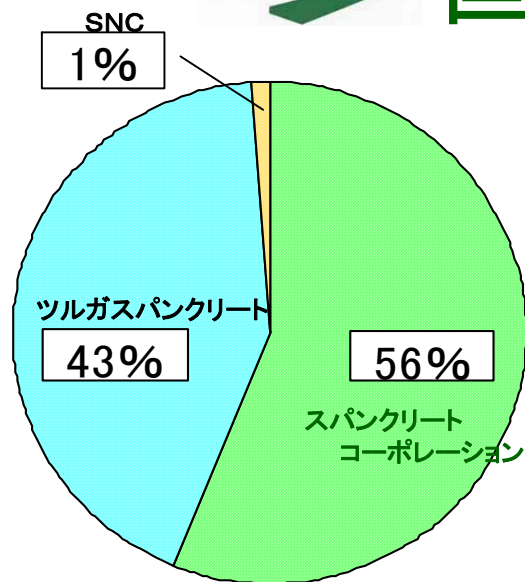
生産能力 約50,000m²/月 (18,608坪)



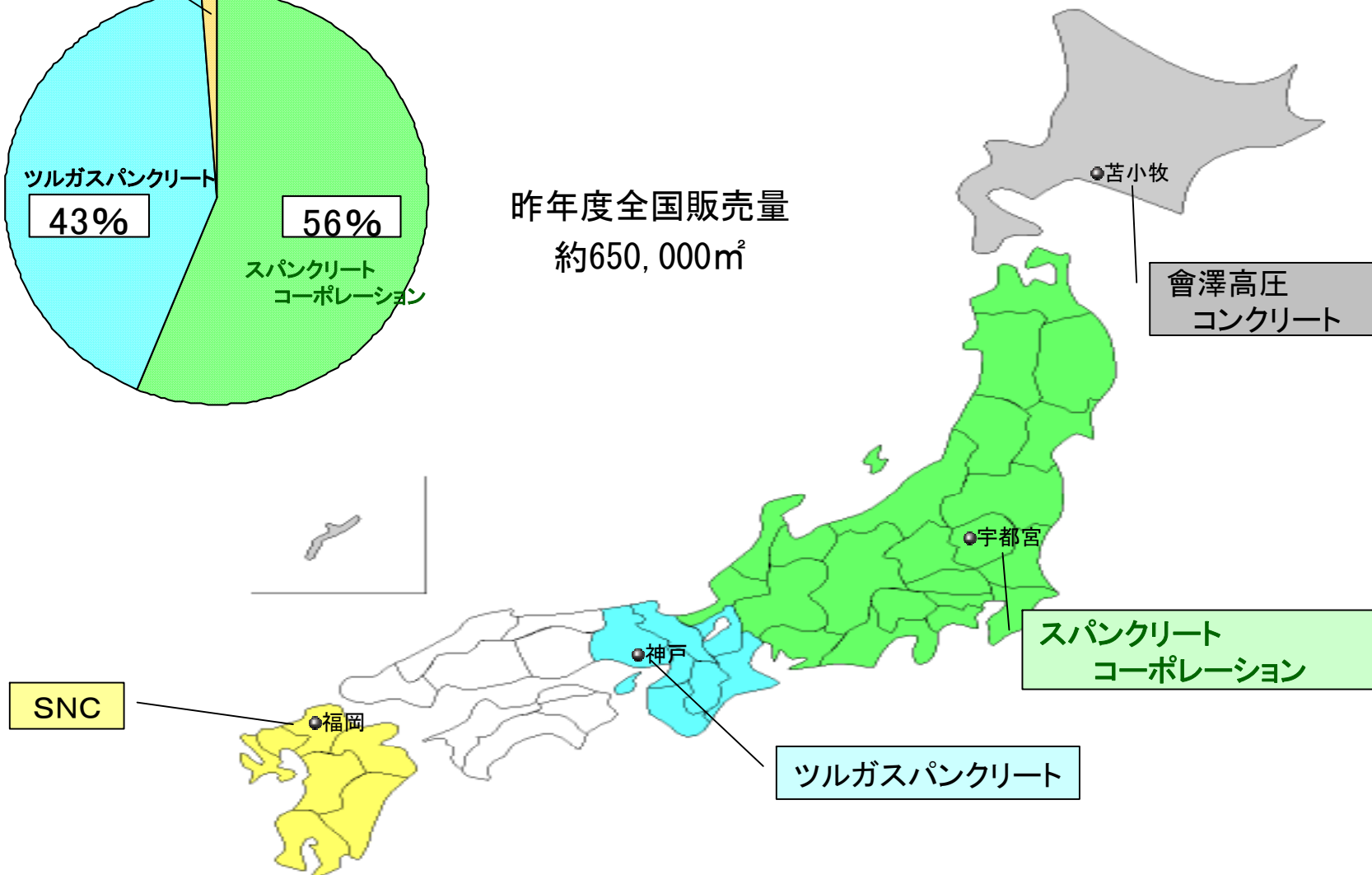
(株)スパンクリートコーポレーション



国内販売量比較



昨年度全国販売量
約650,000m²



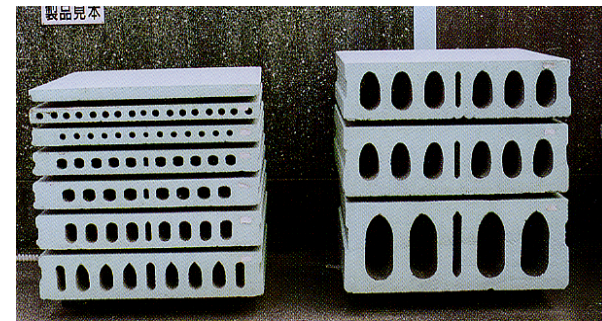
スパンクリート製品概要



(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリート製品



(株)スパンクリートコーポレーション



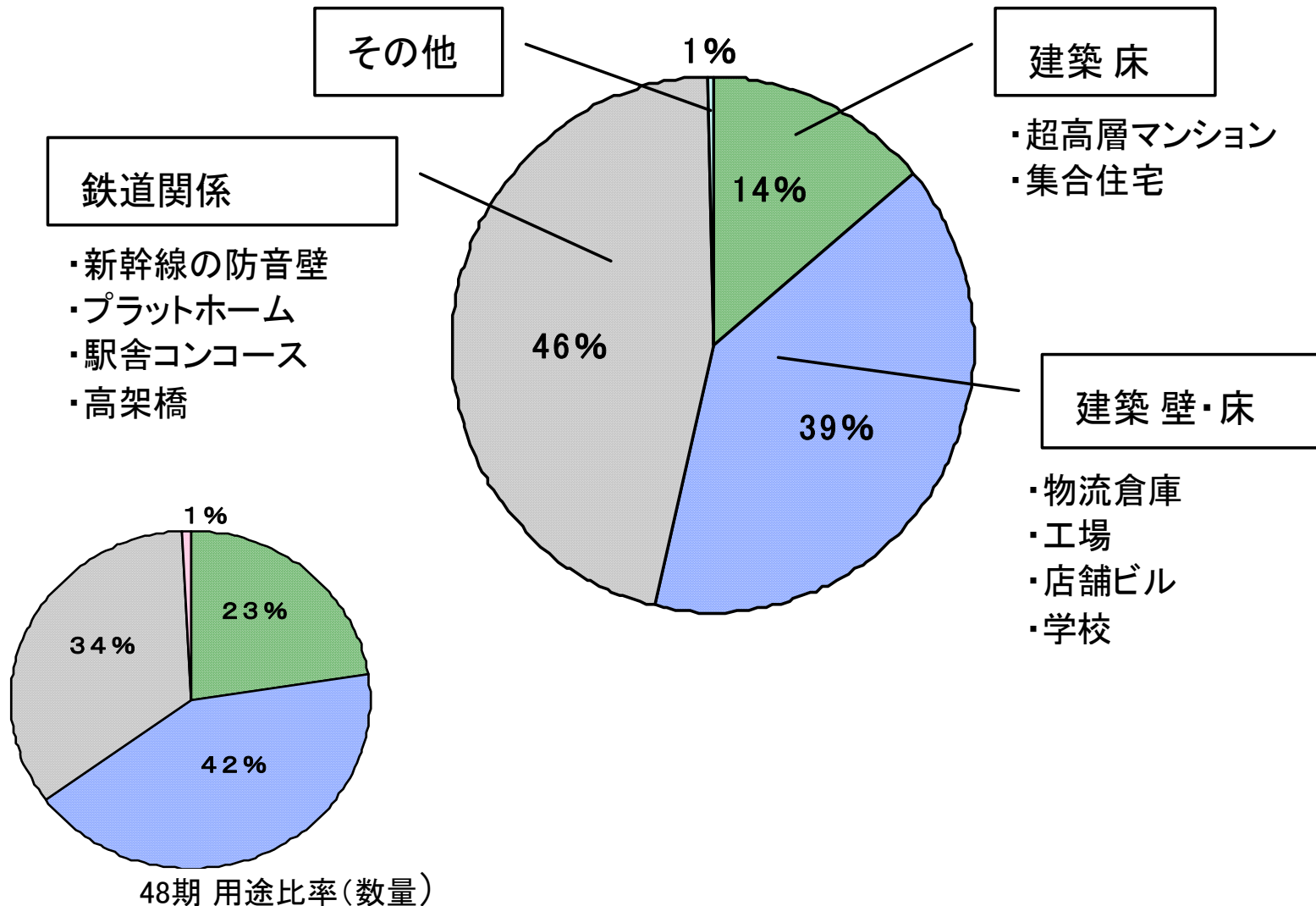
スパンクリート生産



(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリートの主な用途



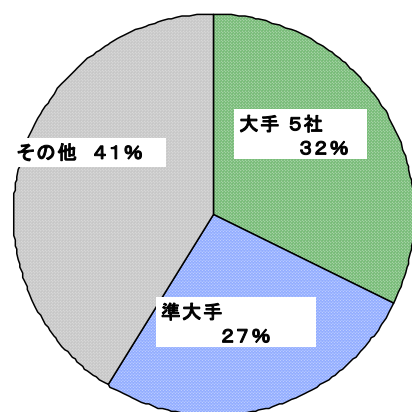
(株)スパンクリートコーポレーション



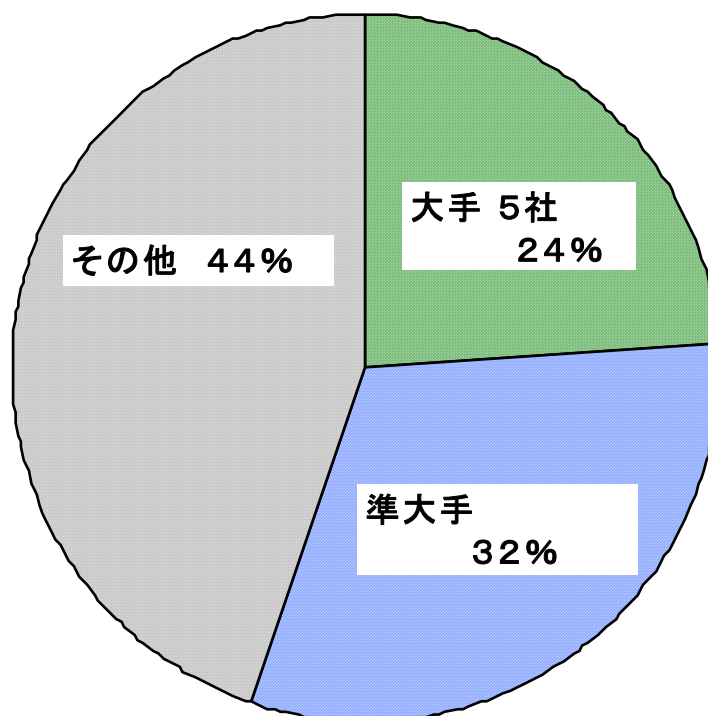
スパンクリートの主な販売先 (建設会社)

- ・鹿島建設(株)
- ・清水建設(株)
- ・大成建設(株)
- ・(株)大林組
- ・(株)竹中工務店
- ・前田建設工業(株)
- ・三井住友建設(株)
- ・戸田建設(株)
- ・西松建設(株)
- ・五洋建設(株)
- ・(株)錢高組
- ・(株)奥村組
- ・大和ハウス工業(株)
- ・鉄建建設(株)

他



48期実績ベース



49期実績ベース

(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリートの施工状況

床板の工事



壁板の工事



(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリート使用例

床・合成床



学校



官庁



マンション

(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリート使用例 壁



文化観光施設



工場



物流センター



商業店舗

(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリート使用例防音壁



北陸新幹線 黒部BL(糸魚川付近)高架



出典: 北日本新聞

北陸新幹線 レール敷設作業開始

(株)スパンクリートコーポレーション



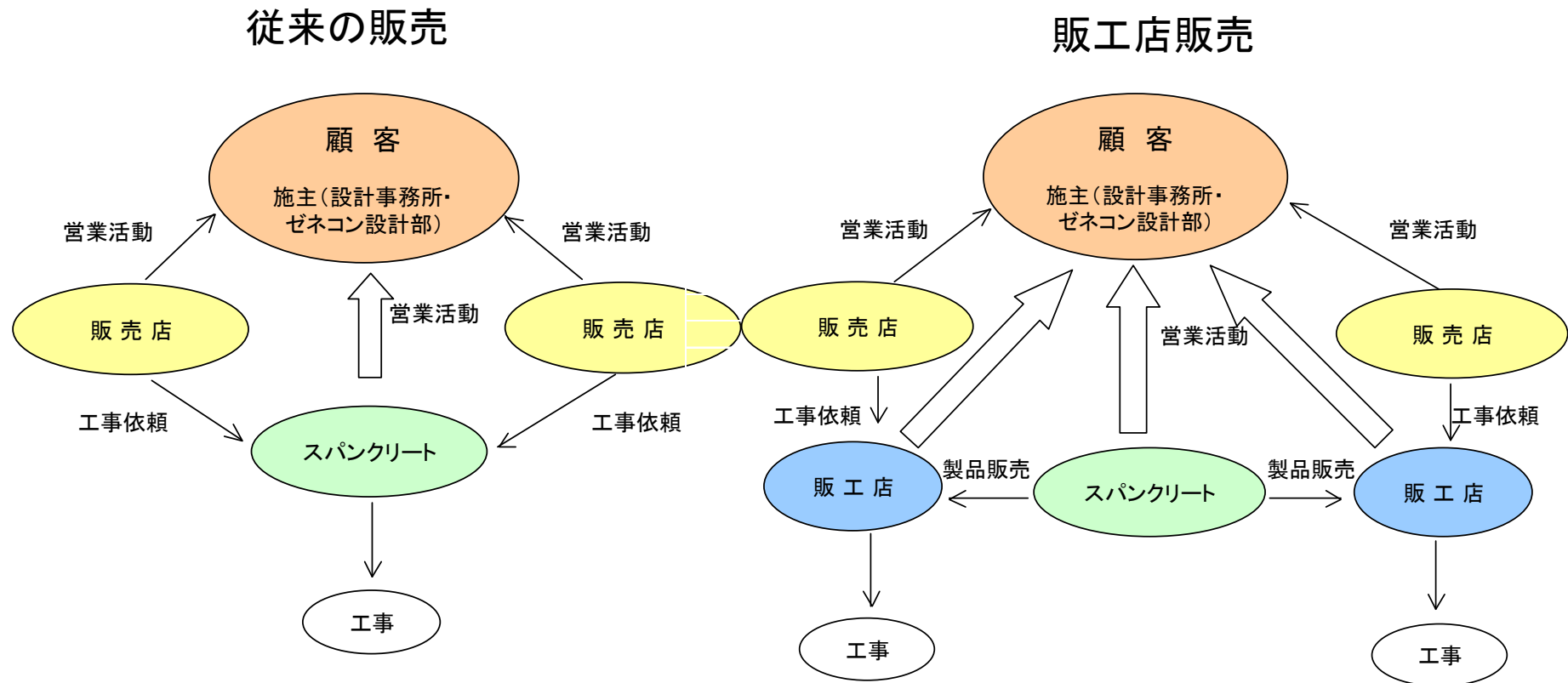
スパンクリート販売戦略

- 販工店を使った販売の強化
- 新幹線の防音壁の确实受注
- 新製品の開発と新用途の開拓



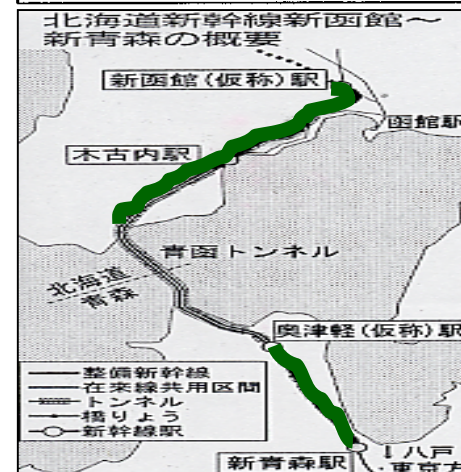
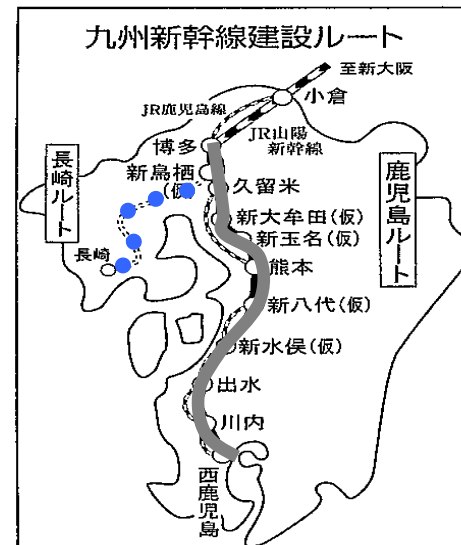
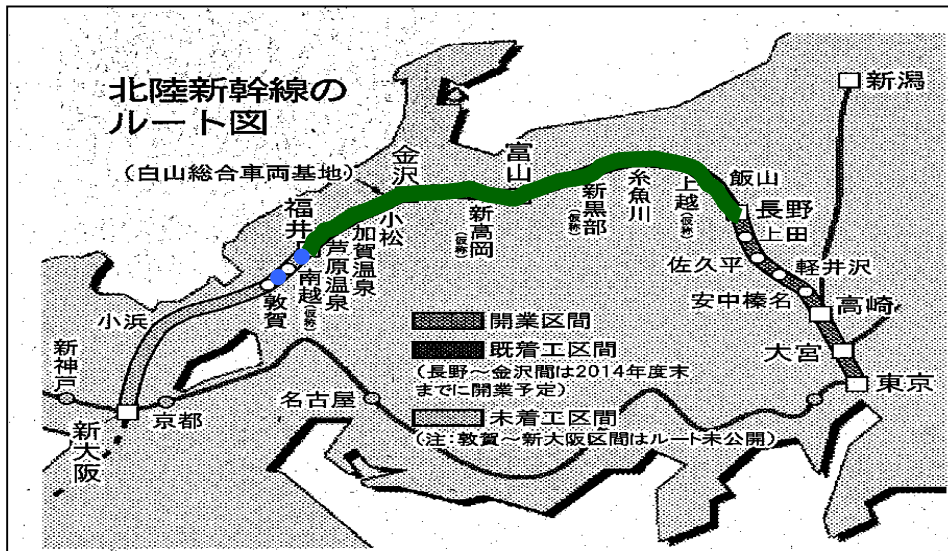
スパンクリート販売戦略

● 販工店を使った販売の強化





新幹線整備路線(2011年1月現在)他

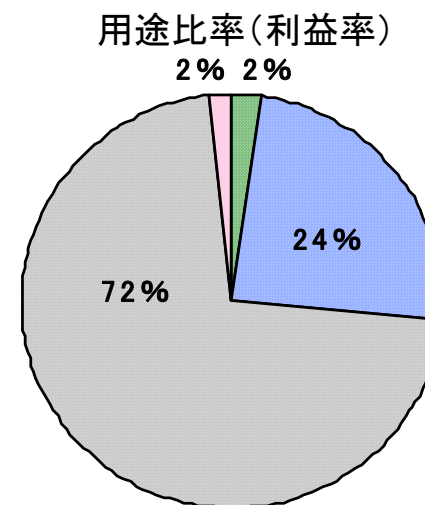
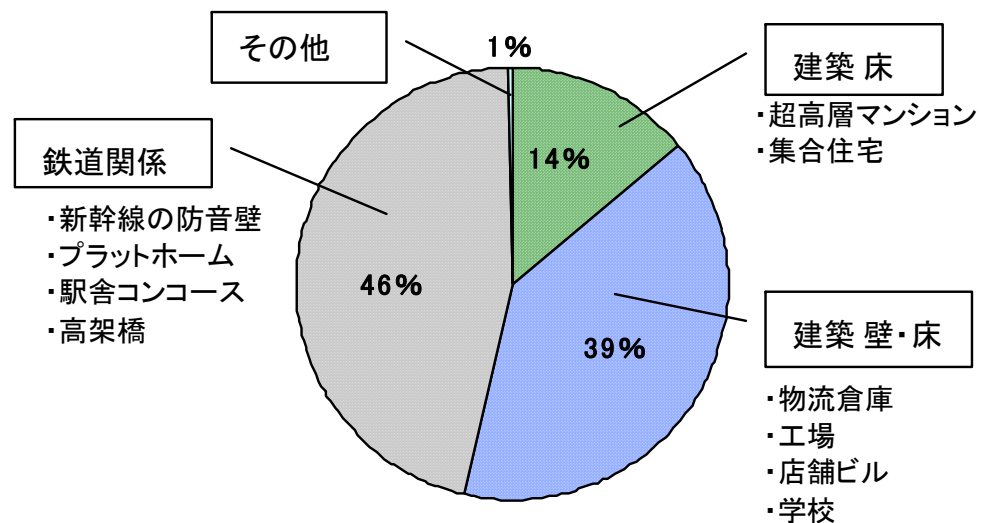


(株)スパンクリートコーポレーション



新工法

■ 道路防音壁 これまで鉄道防音壁に採用されてきたが、道路の防音壁にも採用



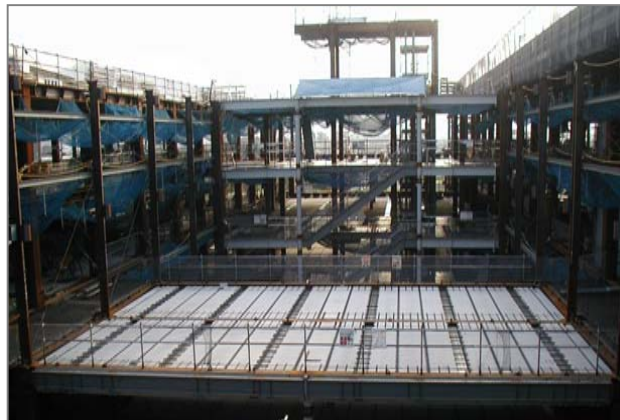


戦略製品

■ Jスラブ工法（特長・・・現場での床のコンクリート打設が不要のため工期短縮）

改良工法
（平成19年9月特許取得）

定着板タイプ



(株)スパンクリートコーポレーション



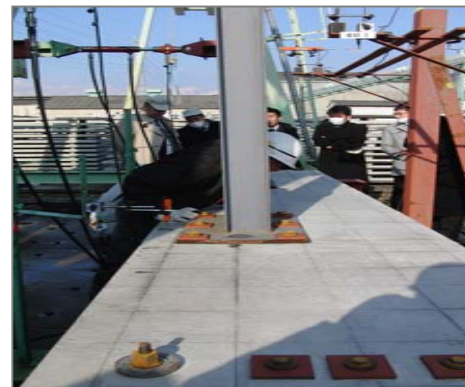
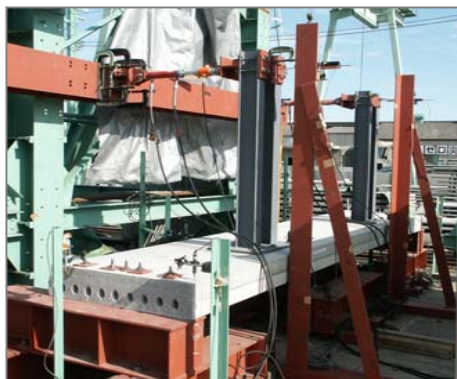
戦略製品

■新Mスラブ（特長・・・鉄筋を入れ強度が大幅にアップしたスパンクリート板）

これまでのMスラブ
（20cm厚）



新Mスラブ
（15cm厚）



ホームドア設置例



(株)スパンクリートコーポレーション

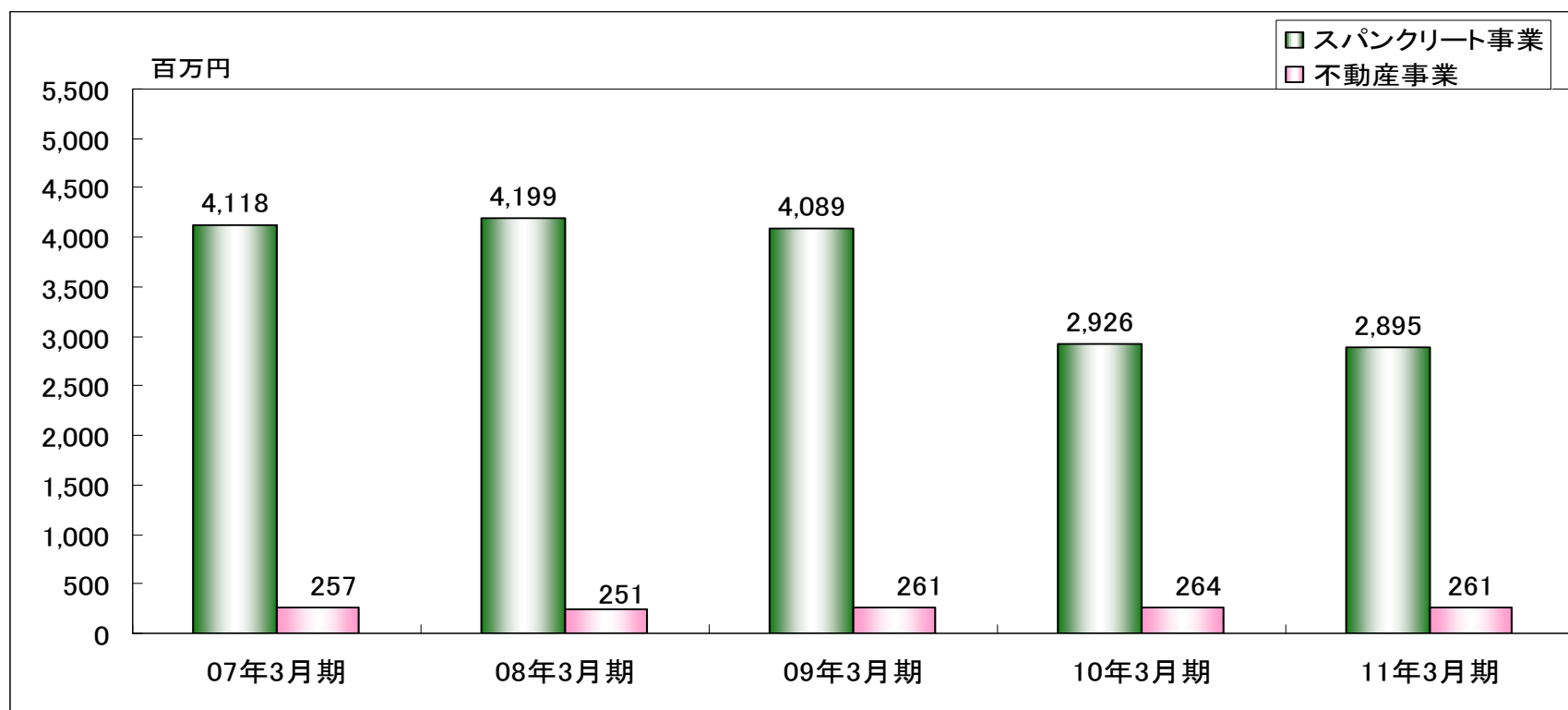
業績概況



(株)スパンクリートコーポレーション



事業のセグメント売上高





事業別概況

単位: 百万円

		10年3月期	11年3月期	増減
スパンクリート事業	売上高	2, 926	2, 895	$\Delta 31$
	営業損益	$\Delta 237$	$\Delta 104$	133
不動産事業	売上高	264	261	$\Delta 3$
	営業損益	149	142	$\Delta 7$
合計	売上高	3, 191	3, 156	$\Delta 35$
	営業損益	$\Delta 90$	31	121

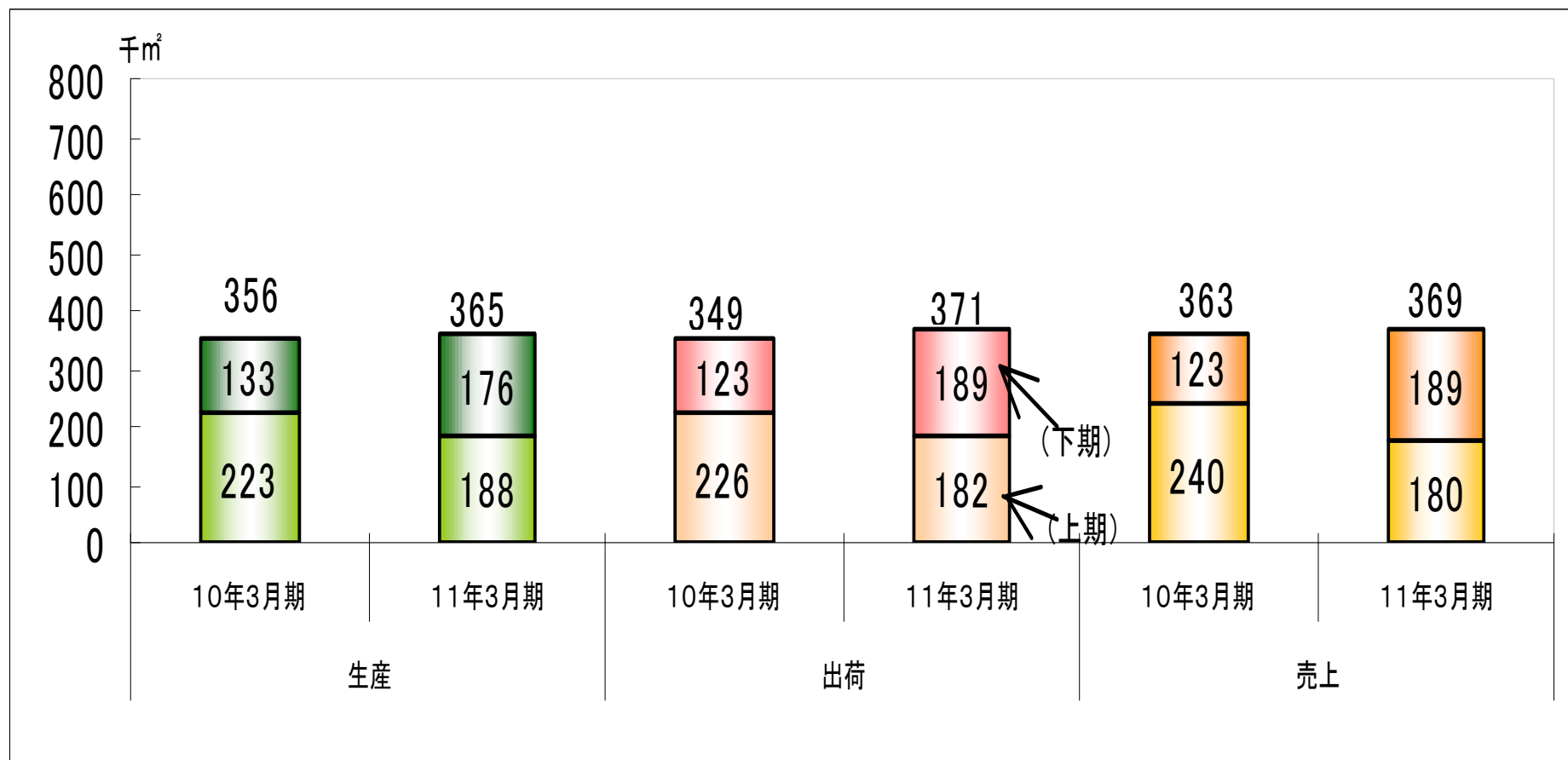
スパンクリート事業



(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリート生産・出荷・売上 数量比較



不動産事業



(株)スパンクリートコーポレーション



所有賃貸ビル

台東区
台東オリエントビル



8階建 1,466.4㎡

新宿区
30山京ビル



8階建 1,887.1㎡

文京区
駒込スパンクリートビル

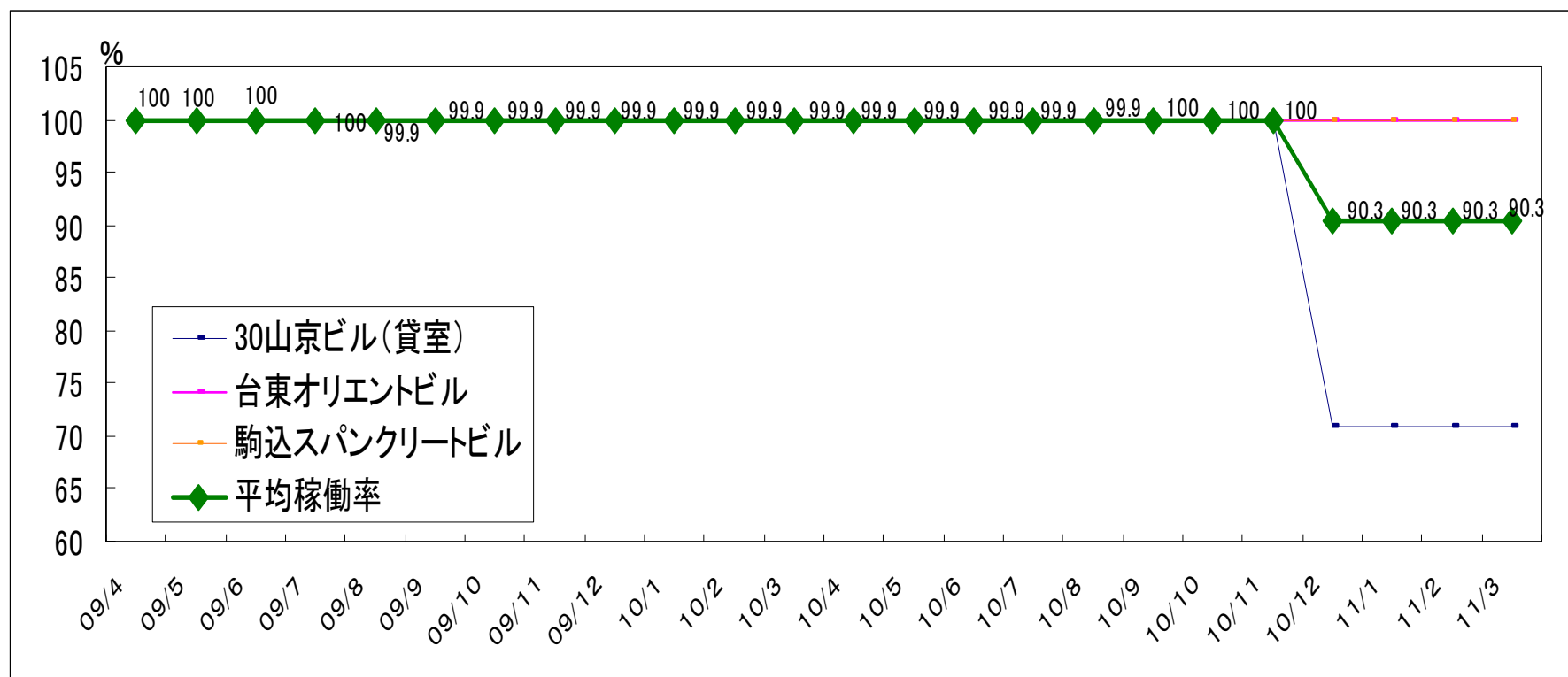


9階建 1,621.5㎡

(株)スパンクリートコーポレーション

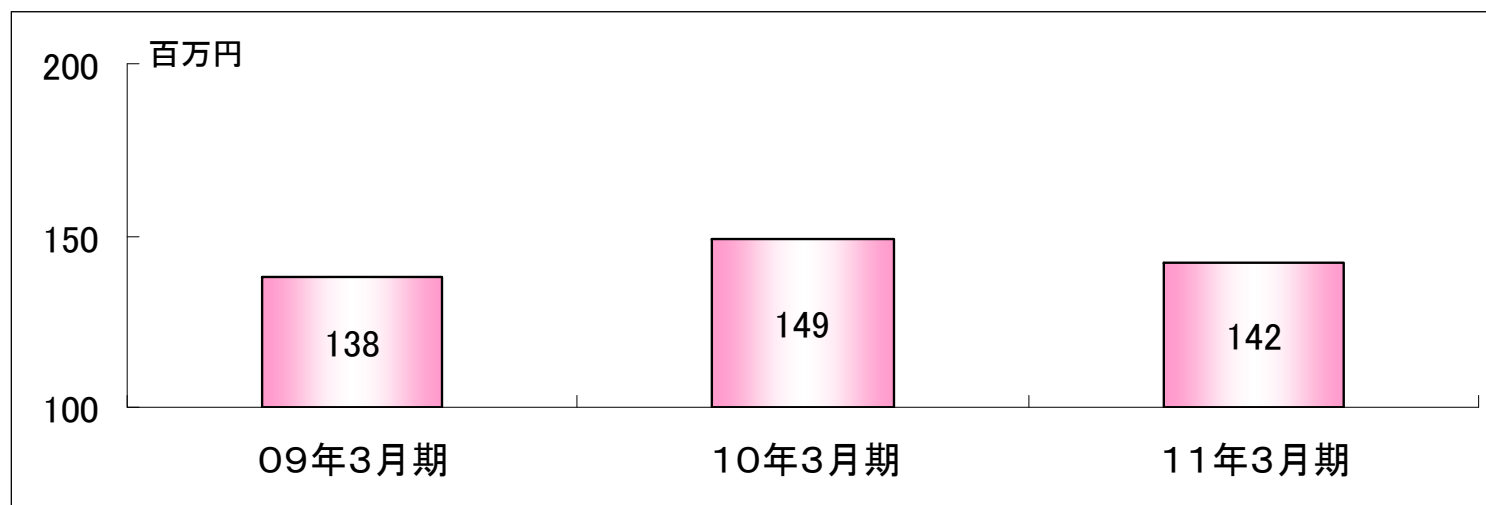


所有賃貸ビル(3棟)平均稼働率





不動産事業利益実績



《賃貸ビル3棟の投資利回り》 6.7%

7.1%

6.2%

《賃貸ビル3棟の
簿価に対する利回り》 10.4%

11.9%

10.5%

財務状況



(株)スパンクリートコーポレーション



比較貸借対照表 <資産の部>

単位:百万円

	10年3月期	11年3月期	増減	摘要
流動資産	3,752	3,433	▲319	
現金及び預金	2,262	1,930	▲332	
売掛債権	524	824	300	
有価証券	738	491	▲247	
たな卸資産	176	158	▲18	
未成工事支出金	4	6	2	
その他	45	22	▲23	
固定資産	5,481	5,181	▲300	
有形固定資産	4,456	4,249	▲207	生産設備の統合による減損、建物・機械等の償却により減少
建物・機械	1,355	1,176	▲179	
土地	3,099	3,029	▲70	
リース資産	－	28	28	
建設仮勘定	1	15	14	
無形固定資産	11	8	▲3	
投資その他	1,014	923	▲91	
投資有価証券	760	698	▲62	時価の下落、売却等で減少
その他	253	224	▲29	
資産合計	9,234	8,614	▲620	



比較貸借対照表<負債の部>

単位:百万円

	10年3月期	11年3月期	増減	摘要
流動負債	1, 150	986	▲164	
買掛債務	129	148	19	支払手形は発行しておりません
短期借入金	700	600	▲100	
未払費用・未払金	214	125	▲89	
未成工事受入金	11	19	8	
その他	95	93	▲2	
固定負債	871	886	15	
長期借入金	0	0	0	
長期未払金	69	72	3	
再評価に係る繰延税金負債	693	693	0	
その他固定負債	108	119	11	
負債合計	2, 021	1, 872	▲149	



比較貸借対照表<純資産の部>

単位: 百万円

	10年3月期	11年3月期	増減	摘要
純資産の部	7, 212	6, 742	▲470	
株主資本	7, 206	6, 436	▲770	
資本金	3, 295	3, 295	0	
資本剰余金	3, 696	3, 696	0	
利益剰余金	513	▲185	▲698	当期純損失 ▲455百万円 土地再評価差額金取崩▲244百万円
自己株式	▲300	▲370	▲70	取得 413千株
評価・換算差額等	6	306	300	
有価証券評価差額金	▲71	▲15	56	
土地再評価差額金	77	322	245	取崩244百万円
負債・純資産合計	9, 234	8, 614	▲620	

・自己資本比率 78. 1% 78. 3%

(株)スパンクリートコーポレーション



比較損益計算書

単位:百万円

	10年3月期	11年3月期	増減	摘要
売上高	3, 191	3, 156	▲35	スパンクリート事業 ▲31百万円減収 不動産事業 ▲3百万円減収
売上原価	2, 772	2, 607	▲165	
一般管理販売費	509	517	8	
営業損益	▲90	31	121	スパンクリート事業 133百万円増益 不動産事業 ▲7百万円減益
営業外収益	70	46	▲24	
営業外費用	16	31	15	
経常損益	▲37	46	83	
特別損益	▲118	▲464	▲346	岩瀬工場閉鎖に伴う減損損失 107百万円 希望退職募集に伴う特別退職金 92百万円 有価証券の減損処理及び売却損100百万円 東日本大震災による災害損失 86百万円
税引前当期純損失	▲156	▲418	▲262	
法人税・住民税	10	7	▲3	
法人税等調整額他	58	29	▲29	
当期純損失	▲226	▲455	▲229	



株主資本等変動計算書

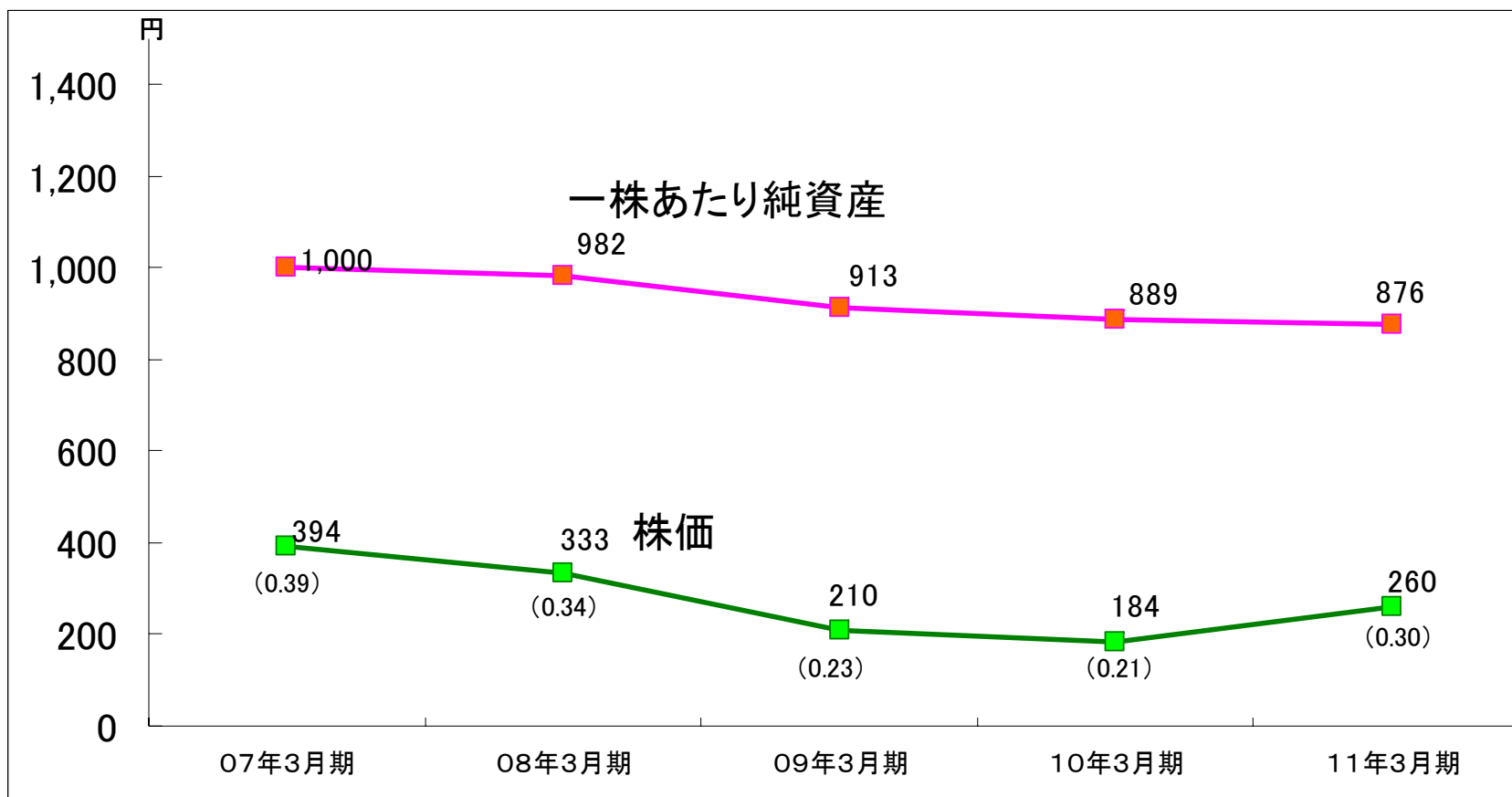
単位:百万円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	3,295	3,696	513	▲ 300	7,206
剰余金の配当					
土地再評価差額金の取崩			▲ 244		▲ 244
当期純損失			▲ 455		▲ 455
自己株式の処分					
自己株式の取得				▲ 70	▲ 70
変動額合計			▲ 699	▲ 70	▲ 769
当期末残高	3,295	3,696	▲ 185	▲ 370	6,436

	純資産		
	有価証券評価差額金	土地評価差額金	純資産合計
前期末残高	▲ 71	77	7,212
株主資本の変動額			▲ 769
株主資本以外の変動額	55	244	299
変動額合計	55	244	▲ 470
当期末残高	▲ 16	322	6,742



一株あたり純資産・株価(PBR)推移



(株)スパンクリートコーポレーション



資本政策の推移

《自己株式の消却》

1998年度～2003年度	1, 588千株	482百万円
---------------	----------	--------

《自己株式の取得》

2003年6月～2007年3月	551千株	257百万円
2007年7月～2008年3月	204千株	82百万円
2008年7月～2009年3月	187千株	40百万円
2009年4月～2010年3月	149千株	28百万円
2010年4月～2011年3月	413千株	70百万円

《自己株式の処分》

2007年2月	363千株	137百万円
2009年5月	176千株	31百万円

《1単元株式数の引き下げ》

2005年11月1日付で1, 000株を100株に変更

《株式分割》

2006年10月1日付で1株を2株に分割

(株)スパンクリートコーポレーション



取り組むべき課題

月産30千m²で利益の出る体制の構築

○営業粗利益率の向上

- ・付加価値の高い新製品、戦略製品の拡販
- ・利益率の高い壁板の拡販

○本社費のスリム化

- ・営業力強化を目指した機構改革（組織のスリム化、機動化、社員の多能工化）、
設計、工事のアウトソーシング
- ・人員の削減

○製造コストの引き下げ

- ・最適生産効率の追求（宇都宮1工場体制の維持、生産方法の改善、組込の改善）
- ・品質向上（歩留まり率向上）
- ・人員の削減



12年3月期見通し

<重点施策>

- ①東日本大震災への対応。緊急時に対応出来る体制。(BCPの確立)
- ②スパンクリート事業の徹底した効率化。昨年のリストラ
(岩瀬工場閉鎖、希望退職募集、生産方法見直し)により概ね達成した。
- ③販路の再構築。建築・土木。
- ④新製品の開発
- ⑤不動産事業の着実な推進

見通しには、「復興需要」は見込んでいない。経営効率化以降後の体制のみが前提

単位:百万円

	11年3月期実績	12年3月期見通し
売上高	3, 156	3, 160
営業利益	31	215
経常利益	46	215
当期純利益	▲455	205

(株)スパンクリートコーポレーション

ご清聴ありがとうございました



(株)スパンクリートコーポレーション